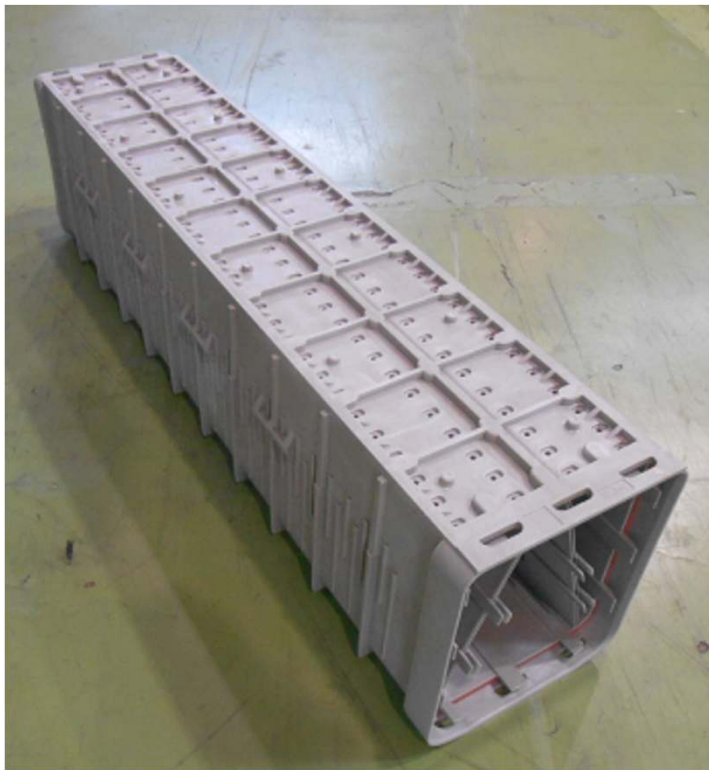


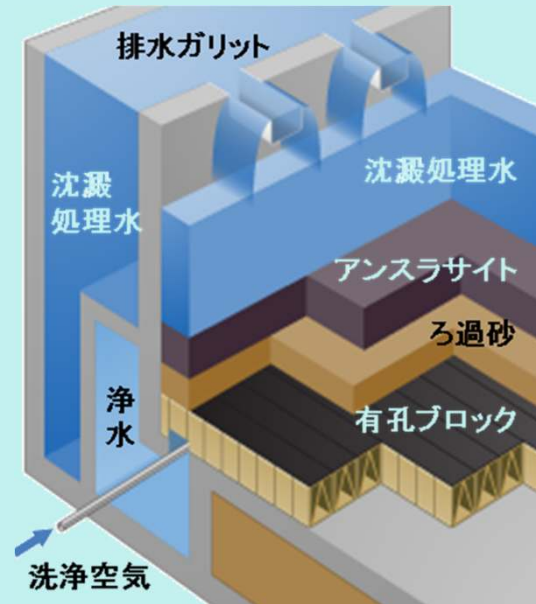
クボタ 有孔ブロック(Kブロック) (砂ろ過池用 下部集水装置)

- ・既設砂ろ過池の更新、改造に適した下部集水装置(有孔ブロック方式)
- ・自社製作(設計、製作、検査)品で信頼性の高い有孔ブロック

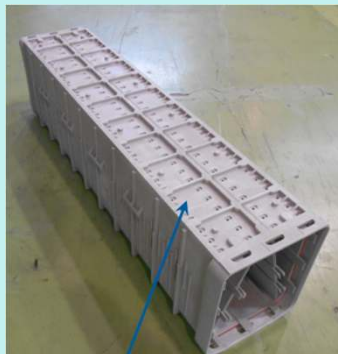


構造

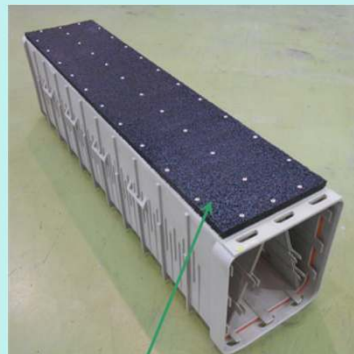
◆Kブロックを用いたろ過池の構造(多孔板付き、二層ろ過)



◆Kブロックの構造



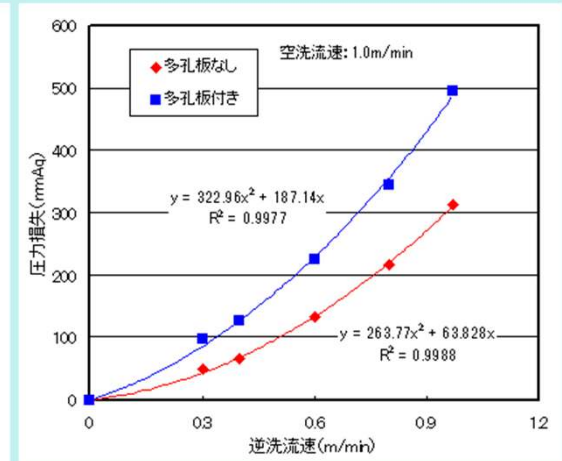
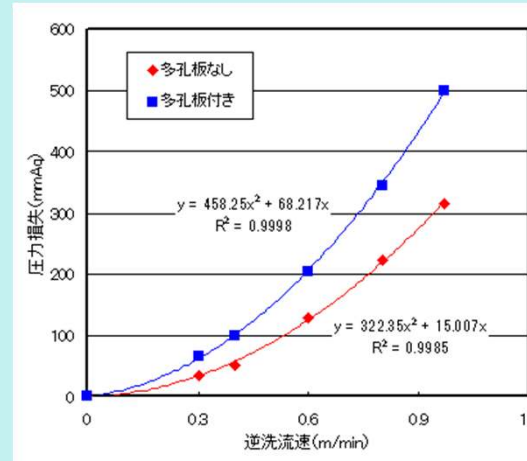
多孔板なしの場合
支持砂利を敷設してその上にろ材を
充填する(従来主流であった陶製有孔
ブロックも同じ)。



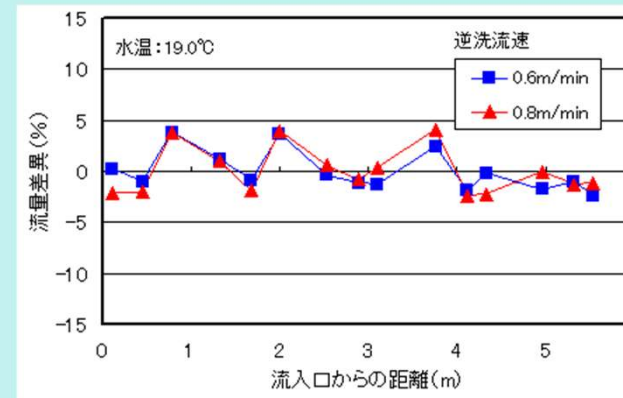
多孔板とは
樹脂ペレットを焼結した有孔プレート。
空隙率 約30%
低圧損とろ過砂保持性を備えたもの。

特長

◆小さな圧力損失



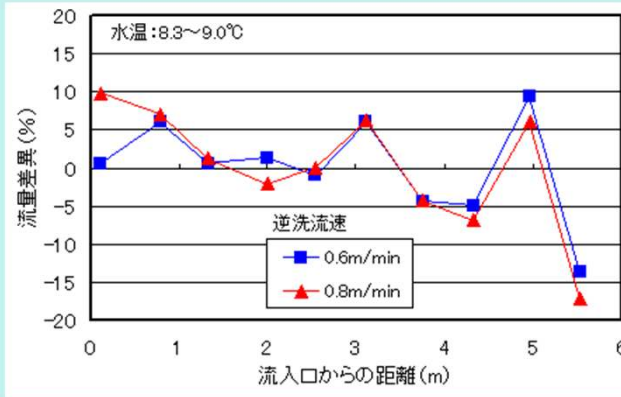
◆高い均等分配性(その1)



多孔板なしの場合

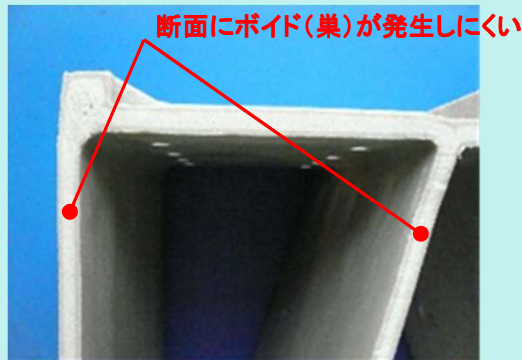
特長

◆高い均等分配性(その2)



多孔板付きの場合

◆軽量化と高強度



Kブロックの切断面

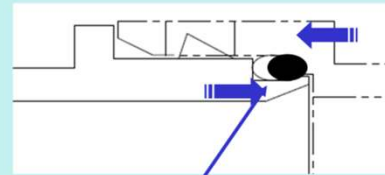
成型方法: 化学発泡成型
発泡剤と樹脂を混合して
射出し、金型内で微小気
泡を発生させる成型方法
→「巣」が発生しにくい



最適な成型方法に
より軽量化と高強
度を実現

◆オリジナルの接続方法による止水性と施工性の向上

<従来(他社)の接続方法>

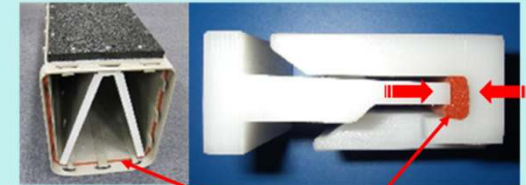


止水材: EPDM製リング
・施工現場でブロック挿し側に取り付け
・接続時に止水材がずれる場合あり

さらに...

EPDMは長期間残留塩素に接す
ると黒粉が生じる恐れがある

<Kブロックの接続方法>



止水材: シリコンスポンジ
・ブロック受け側に装着して工場出荷
→現場での取り付け作業なし
・止水材のズレが起こらない構造
→施工ミスがない

シリコンスポンジの採用でEPDM
の黒粉問題を解消

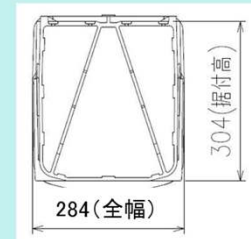
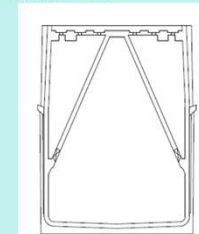
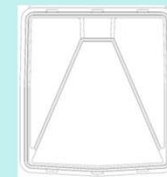
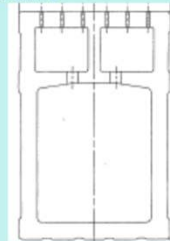
◆既設ろ過池の更新に対応

陶器製ブロック
接続長: 400~600
全幅: 280
据付高: 430

A社製ブロック(樹脂製)
接続長: 1,224
全幅: 280
据付高: 304

B社製ブロック(樹脂製)
接続長: 1,208
全幅: 294
据付高: 382

<Kブロック>
主要他社品のうち
レオポルドブロックの
据付高とほぼ同じ



既存のろ過池で広く使用されている
陶器製ブロックや他社製ブロックと
寸法の互換性あり



既設ろ過池の更新に対応可能
(据付高の差は底部モルタル高さにより
調整する)